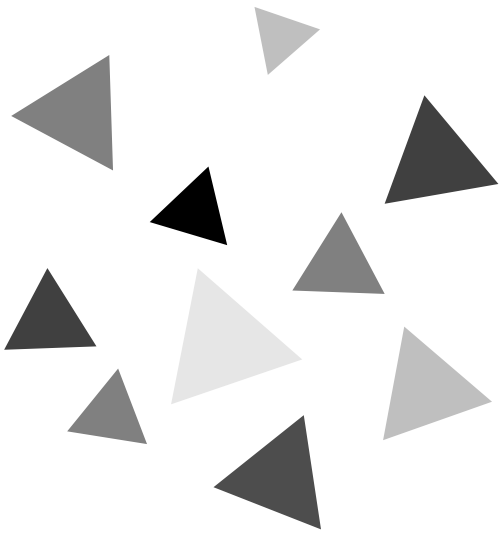
DX3000

PEN PLOTTER

追加説明書

MANUAL NO. DX3000-UM-502



GRAPHTEC

はじめに

このたびは、弊社スプロケットプロッタDX3000をお買上いただきありがとうございます。本説明書は、「リバースモード」と「カッターイニシャル位置とオフセット圧の設定」についての追加説明書です。
ご使用に際しましては、本追加説明書と取扱説明書をご熟読いただき、正しくご使用いただけますようお願い申し上げます。

■ VCCIについて

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

■輸出に関するご注意とお願い

当社で取り扱う商品は、日本政府の外国為替および外国貿易法ならびに、製造国の輸出管理法等に従って、他国への転売・再輸出が規制されております。
日本国内より持ち出す際には、事前に弊社営業所にお問合せ願います。

■本書に関する注意

- ●本書の内容の一部、または全部を無断で複写、転載することを禁止します。
- ●本書の内容および製品の仕様は、将来予告なしに変更することがあります。
- ●本書および製品の内容につきましては万全を期しておりますが、万一ご不明な点や誤りなどお気付きの点がございましたら、弊社またはお買い上げの販売店にご連絡ください。
- ●本書および製品を運用した結果の影響につきましては、上記の項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

1　リバースモード

リバースモードでは、インクのカスレが発生した場合に作図を中断し、部分的に描き直すことができます。

確　認

リバースモードでは、ソート（ペンソート、ベクトルソート等）及びカット＆マークはオンの設定でも無効になります。

データ容量が約 0.8M バイトを超えるデータの場合には使用できません。

文字サイズ、文字スペースはステップサイズの設定に応じて、以下の値より大きな値を入力すると、リバースモード実行時に正しく描かれません。

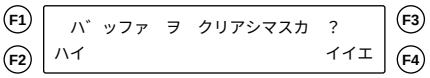
ステップサイズ	文字の大きさ・スペース
100	3276.80mm
50	1638.40mm
25	819.20mm
10	327.68mm

設定方法

①【停止 / 設定】キーを押して設定モードにします。

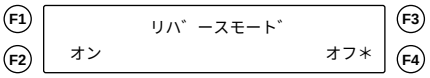
②ディスプレイが下記の表示になるまで、【次画面】キーを押します。

③【F4】キー（リバース）を押すと、I/O バッファにデータがある場合は下記の表示になります。(I/O バッファにデータが無い場合は、④になります)



リバース オン / オフの変更はI/Oバッファが空の時しかできません。変更する場合は【F2】キー（ハイ）を押して、I/Oバッファをクリアしてください。【F4】キー（イイエ）を押すと、②のメニューに戻ります。

④下記の表示になります



【F2】キーを押すとオンに、【F4】キーを押すとオフに＊印が表示されます。リバースモードを有効にするには、オンに＊印が表示されている状態で、【入力 / 実行】キーを押してください。

確　認

リバースモードを有効に設定している時は、作図を行なう前にバッファクリアを行なってください。バッファクリアを行なわないと 2 枚目以降の作図データが、1 枚目の続きとしてバッファに保存されてしまいます。

再描画の操作方法

再描画の方法は 2 通りあります。

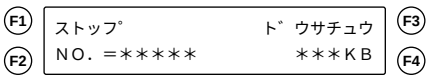
1. 作図を一時停止して、再描画したい線や文字へペンを移動する方法。
2. 作図を一時停止して、再描画したい線や文字のブロックナンバーを入力する方法。

操作は以下の手順で行ないます。

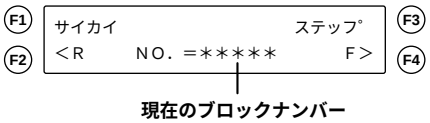
1. 作図の一時停止
2. 再描画したい線や文字へペンを移動、またはブロックナンバーを入力
3. 再描画

操作方法（作図の一時停止と再描画）

① リバースモード時は、作図中のディスプレイの表示が下記のようになります。



②作図中にカスレが発生したら、【F1】キー（ストップ）を作図が一時停止するまで押し続けます。
作図が一時停止すると、ディスプレイは下記の表示になります。



現在のブロックナンバー

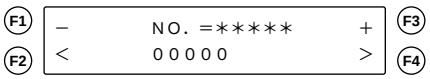
③再描画したい線や文字を選択します。選択方法には以下の 2 通りがあります。

選択方法 1

【F2】キー（＜ R）を押して、再描画したい線や文字の書き出し位置へペンを後退させます。後退するごとにブロックナンバーが減少します。再度【F2】キーを押すと、後退を停止します。後退しすぎた時は、【F4】キー（F＞）または【F3】キー（ステップ）で前進させます。再描画したい線や文字が決定したら、④の操作に移ります。

選択方法 2

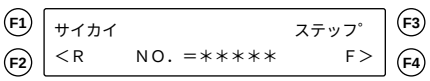
再描画したい個所のブロックナンバーを入力します。【入力/実行】キーを押すと、以下の画面になります。



下段の 00000 に、【F1】から【F4】キー(ファンクションキー)で再描画したい線や文字のブロックナンバーを入力し、【入力/実行】キーを押してください。

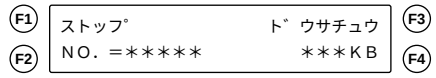
【F1】キー .....カーソルの位置の数字が 1 減ります（0 の次は 9 です）
【F2】キー .....カーソルが一つ左に移動します
【F3】キー .....カーソルの位置の数字が 1 増えます（9 の次は 0 です）
【F4】キー .....カーソルの一つ右に移動します

指定されたブロックナンバーの位置へペンが移動し、ディスプレーは下記の表示になります。

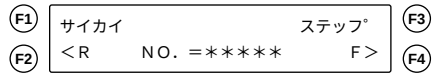


位置が正しくなければ再度ブロックナンバーを入力します。再描画したい線や文字が決定したら④の操作に進みます。

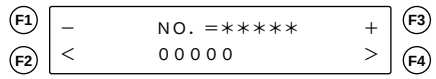
④【F1】キー(サイカイ)を押してください、ディスプレイが下記の表示になり再描画を行ないます。



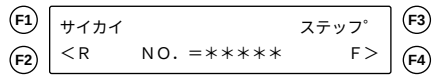
⑤再描画が終了したら、【F1】キー(ストップ)を作図が一時停止するまで押し続けます。作図が一時停止すると、ディスプレイは下記の表示になります。



⑥【入力 / 実行】キーを押します。ディスプレイが下記の表示になります。ディスプレイの下段の数字が00000になっているのを確認してから、再度【入力 / 実行】キーを押します。00000 になっていない場合は、【F1】から【F4】キー(ファンクションキー)で 00000 にしてから【入力 / 実行】キーを押します。



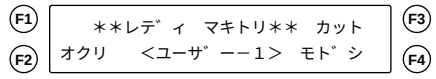
⑦ディスプレイは下記の表示になり、②の操作で一時停止した位置にペンが移動します。



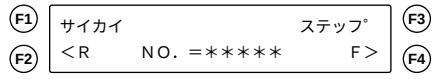
⑧【F1】キー(サイカイ)を押すと、②の操作で一時停止した続きの作図を再開します。

作図終了後に再描画を行なう場合

①作図終了後にカスレが発見された場合、ディスプレイが下記の表示のときに【F1】キーを押します。



②ディスプレイが、下記の表示になります。以下の操作は**「操作方法(作図の一時停止と再描画の③)」**以降を参照してください。

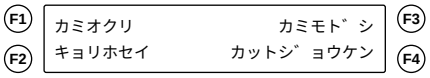


2　カッターイニシャル位置とオフセット圧の設定

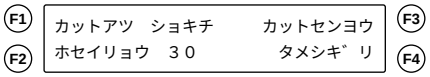
電源投入直後や条件設定後、刃先の向きを整えるため、フィルムに刃を立てる動作を行います。これを刃先のイニシャルといいます。この動作を行うときの位置とカット圧を設定します。

設定方法

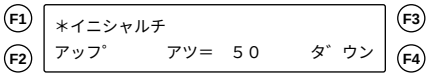
①【停止 / 設定】キーを押して設定状態にしますと下記の表示になります。



②【F4】キー（カットジョウケン）を押して下記の表示にします。



③下記の表示になるまで【次画面】キーを押します。



この表示の時に【F1】キーを押すごとにイニシャル位置を変更できます。

＊印が付いているときは作図範囲外でイニシャルを行います。

＊印が付いていないときはカット開始点の 2mm 下でイニシャルを行います。

また、この表示の時に【F2】キーもしくは【F4】キーを押すと１０～１７０の範囲でオフセット圧を１０単位で変更することができます。（初期値：５０）

【F2】キー .....オフセット圧の値が１０増えます。
【F4】キー .....オフセット圧の値が１０減ります。

④設定した内容でよければ、【入力 / 実行】キーを押し、カッターイニシャル位置とオフセット圧の設定を終了します。

●本書の記載事項はお断りなく変更することがありますのでご了承ください。

DX3000　追加説明書　2001年8月28日
（DX3000-UM-502 第1版）

発行　横浜市戸塚区品濃町503-10
　　グラフテック株式会社　販売助成部